

議会運営委員会報告

「議会活性化の取り組みについて」その3」

前号でお伝えした議会活性化の全体像を具現化するため、協働の推進・広聴機能強化に向けた勉強会を開催しました。講師は名寄市を拠点に対話のファシリテーターなどでご活躍の黒井理恵さんです。

話の手法について学びました。

そして、特定の課題や団体的を絞らず、幅広く町民のみなさんの声を聴くことを目的に、平成27年2月22日にハビネスにて「井戸ばた会議〜町民と議会との対話〜」を開催しました。

参加者が8人ということもあり、和室の掘りこたつ3か所に分かれ、議員がそれぞれ



のホスト役・書記役となり、いくつかのお題をきっかけに自由な対話を行いました。ただし、留意点と井戸ばたでのマナー(右表)を意識していただくよう、最初にお願ひしました。

留意点は「町民のみなさんの声には多様性が

【井戸ばたでのマナー】

- ◇ 対等な立場で参加する
- ◇ 発言と人格は分けて考える
- ◇ 自分の考えに固執しない
- ◇ 自分の考えを率直に話す
- ◇ 人の意見に耳を傾ける
- ◇ 全員が話せるように配慮を

あり、真逆のご意見を同時にお聴きする場合もあることなどから、必ずしもこの場で拝聴した声が議会で反映されるわけではない」ということです。

いただいたご意見の一部は次のとおりです。

【テーマ】
議会に対し、日頃感じていること

【意見】

・ 議会は今までになく活発に感じているが、町長と議会がうまく噛み合っていないのではないか。

・ 議員と町民の垣根が高い感がある、気軽に話す機会が少ない。
・ 町民が議員を動かしていくためにも、議会に関心を持つべき。
・ 議会広報は、日常使わない難しい言葉が多い。
・ 平日日中の傍聴は難しい。

【テーマ】
町の将来に対し、日頃感じていること

【意見】

・ 一人でも新規就農ができるような制度改正が必要。
・ 教育委員に女性が必要。
・ 託児制度、ボランティアでまかなう方法はないか。
・ お年寄りが気楽に集まって談笑できるような場所が必要。
・ まちおこしセンター、宿泊施設等のハコものに不



安がある。審議会等は形だけで、構想はでき上がっているのではないか。

今回、参加者が少なかつたということもあり、議会が主催するだけでなく、各種団体等の会議や行事に議会がはかしてはどうかという意見も出ています。

引き続き町民のみなさんとの対話を重視して議会活性化に取り組んでいきます。